

京都精華大学教育後援会 2024 年度 第 2 回役員会 議事録

開催日時：2024 年 10 月 26 日（土）11 時～12 時 15 分

開催場所：本館 4 階 H-401・オンライン

出席役員：

（会長）塩路 有紀、（副会長）井上 孝晴、（監事）篠崎 聡※、椋本 千鶴子、

（以下、学部幹事）久保園 順子、兒玉 修一、松本 高志※、小林 江美子 ※オンライン参加

本学参加者：

（学長・教育後援会顧問）澤田 昌人、（副学長）吉岡 恵美子、（副学長）三河 かおり、（教務部長）恩地 典雄、（学生部長）田村 有香、（教学グループリーダー）嶋崎 一平、（経営企画グループ長）飯澤 ちあき、（経営企画グループ）若林 麻由佳

本学欠席者：

（教学グループ長）片田克、（学生グループ長）山元 英昌

報告事項

1. 2024 年度教育懇談会開催報告

事務局から、7 月 6 日、10 月 5 日にオンライン教育懇談会を開催したことの報告があった。役員からの質問・意見は以下の通り。

・対面・オンラインのハイブリッド形式で開催した 2023 年度の面談件数について

→2023 年度からは少し減っている。（7 月開催：83 件→62 件、10 月開催：31 件→37 件）

・次年度はハイブリッド形式での開催を検討してはどうか

・教育懇談会の相談内容について

→就職活動状況、履修状況についての相談が多くを占めている。教員面談はゼミの担任や、授業をもっている教員が担当しているため、普段の学生生活について話すことも多い。

・学生の就職状況を教員が把握しているのか

→3 年生と 4 年生に対して就職状況の調査がある。また、ゼミの学生との会話の中で就職状況を聞くことや、専門的な就職活動について相談にのることがあるので、把握している場合がある。

・教育懇談会の参加者について

→基本的には保護者と教員の面談ではあるが、学生本人も参加することは禁止しておらず、三者面談となるケースもある。

2. 2024 年度寄付事業について

事務局から、2024 年 7 月の教育後援会総会にて内容が承認された寄付事業について、現時点での進捗報告があった。最終的な実績報告については、事業の実施後に行う。役員からの質問・意見は以下のとおり。

- ・成績優秀者対象奨学金の申し込み状況、経済的支援が必要な学生への奨学金について
→教育後援会が寄付をしている成績優秀者対象奨学金については、上位成績優秀者が一定数採択されている。最終的な報告は第3回役員会で行う。経済的に困難な学生に対する奨学金については、数年前まで本学独自の奨学金を実施していたが、近年は国から経済的支援をする奨学金が増えたため、現在は実施していない。
- ・キャリアパーク開設による就職率の変動について
→就職率は未集計、今後集計予定。キャリアセンターの利用者や就職情報へのアクセスは増加している。

議事事項

1. 2025年度総会及び教育懇談会の開催方針

事務局から、2025年度の教育後援会総会及び教育懇談会の開催形式について説明があった。

総会は今年度と同様に、会員を対象とした事前オンラインアンケート決議を行い、その結果を役員会形式で確認する。

教育懇談会については、参加者アンケートでオンライン形式での開催希望者が多くを占めていたことから、次年度も両日共にオンラインで実施する事の提案があった。役員からの意見は以下のとおり。

- ・ハイブリッドで開催していた時より参加者数が減っているのであれば、今回はハイブリッド形式を検討してはどうか
- ・教育懇談会について、より詳細な情報を保護者に案内することで、参加率が上がるのではないか
- ・三者面談だと思っている人が一定数いるのではないか
- ・面談日を増やすのはどうか
- ・案内に参加者の感想を含めることで、気軽に参加できるのではないか

教育懇談会の開催形式については検討し、次回の役員会で改めて審議する。案内方法については、参加者数を増やせるよう、工夫したい。

2. 2025年度寄付事業案について

事務局から、第3回役員会に提案する2025年度の寄付事業項目案について、①奨学金の充実、②キャリア支援活動への賛助、③学内環境の整備支援、④食環境の充実、⑤入学記念品の5事業案と、新提案として⑥2025年度寄付事業について会員全員にアンケートで募集したことの説明があり、アンケート結果について共有があった。

アンケートに対して、澤田学長から以下の説明があった。

- ・実習室の机と椅子が木製で作業に適していない：学内アンケートで意見があった教室については随時改善している。本件も該当の教室が分かり次第改善したい。
- ・スクールバスのラッピング：本学の2025年度事業計画に含めることを予定している。
- ・スクールバスのバス停（国際会館側）の屋根や待合室がほしい：公道のため不可能。
- ・トイレの盗撮対策：個室ドア上部を塞ぐ、また、人感センサー付きの照明を設置するなど、防犯対策を施している。今後も対策を検討する。

役員からの寄付事業への提案・意見は以下のとおり

- ・教育後援会の総会資料について、日英表記だけでなく、中国語と韓国語の翻訳も必要ではないか。
また、役員に留学生保護者も参加していただきたい。
- 資料の翻訳を検討する。役員募集は留学生保護者からも募集をかけている。今年度の懇親事業の動画については、字幕を整備することで、他言語で視聴していただけるようにする予定。
- ・大学内に生協はあるのか
- 生協はないが、コンビニと画材店がある。他に、自動車教習所や卒業式のレンタル着物等、学生の必要な情報は学生の通り道で呼び込み、受付できる期間を設けている。
- ・令和6年能登半島地震の後、豪雨による水害があったが、二重被災した学生はいないのか
- 今のところ、二重被災した学生の報告はない。
- ・食堂の営業時間を20時半まで延ばしてほしい
- 今年度、食堂と面談した際に、食堂の営業時間延長について提案をしたが、曜日によって学生の増減があることと、人件費の確保が難しい為対応が難しいとのこと。今後、検討は続ける。
- ・食堂応援ランチについて、150食では全学生に行き渡っていないため、普段のメニューを100円引きにする等、検討してほしい

次年度の寄付事業に関しては、今回いただいた意見をもとに検討し、第3回役員会で提案されることとなった。

塩路会長から、議事の終了が宣告された。

以上